

# 令和4年度（第73回）県民体育大会柔道競技 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

## 1. 大会日程について

### （1）日程

令和4年7月18日（月） 10：00～ 成年男子  
女子・少年男子

### （2）計量

女子計量会場：柔道場師範室  
女子非公式計量 7月18日（月） 8：00～8：30  
女子公式計量 7月18日（月） 8：30～9：00  
男子計量会場：柔道場  
男子非公式計量 7月18日（月） 8：00～8：30  
男子公式計量 7月18日（月） 8：30～9：00

### （3）審判・監督会議

令和4年7月18日（月） 9：00～ 柔道場師範室

## 2. 試合会場について

秋田県立武道館柔道場の第2試合場と第3試合場にて試合を行う。

## 3. 入場制限について

### （1）無観客

観客の入場を認めない。

### （2）入場を認める参加者

出場選手のみとする。

所属の監督・コーチ及び引率（高校）については、事前に大会事務局へ届け出ること。  
また、チームの所属選手が1名で練習相手が必要な場合は、大会事務局へ届け出ること。

### （3）入場を認める大会関係者

大会競技役員（補助員含む）以外は原則入場を認めない。

## 4. 健康調査票等の提出及び検温の実施について

### （1）健康調査票の提出

すべての参加者及び大会関係者に入場時、健康調査票（選手・監督・コーチおよび引率用／役員用）の提出を求める。

### （2）検温

当日朝に自宅で測定していない参加者に、検温を実施する。

### （3）参加のとりやめ

健康調査票の提出に不備がある場合、また、記載内容に問題がある場合、検温に異常が認められた場合は、大会への参加を認めない。

## 5. 練習について

（1）成年男子 8：50～ 9：20

（2）女子 8：50～ 9：20

（3）少年男子 9：20～ 9：50

## 6. マスクの着用について

すべての参加者及び大会関係者に常時マスク着用を義務づける。ただし、選手の試合及び練習についてはこれを除外する。

## 7. 手指消毒及び周辺施設の消毒について

### (1) 入場時の手指消毒

すべての参加者及び大会関係者に対し、入場時の手指消毒を義務づける。

### (2) 入場後の手指消毒及び周辺施設の消毒

入場後、会場内においても適宜手指の消毒を求める。そのため、消毒液を入り口各所に設置するとともに、参加者に消毒液の持参を依頼する。また、共有する施設については、員が適宜巡回のうえ、消毒を行う。

### (3) 試合会場の消毒

定期的に試合場（畳）の消毒を行う。

## 8. 身体的距離の確保について

参加者は、常時適切な身体的距離を確保し、行動するようにする。

## 9. 試合前、試合中の選手、監督、コーチの行動について

### (1) 試合前

①選手は各自手指消毒を行う。

②選手は試合場でマスクを外してケースやビニール袋に入れる。（入れ物は各自で準備）

### (2) 試合中

①試合中、選手には大きな発声をしないよう、自粛を求める。

②会場内において、大きな声での会話や応援をしないこととする。特に試合中のコーチによる大声での指示や指導は大会申し合わせ事項により、禁止とする。

## 10. 柔道衣コントロールについて

### (1) 柔道衣コントロール

審判員が目視によりコントロールを行う。なお、疑義が生じた場合は各試合場において、審判員が測定器具を用いて検査を行う。規格に不適合と判断された場合は、「失格」となることを理解のうえ、選手・コーチは責任をもって規格に適合しているか事前に確認すること。

### (2) 赤白帯

試合をする際の赤白を示す赤白の帯について、各自が赤白それぞれの帯を持参することを義務付ける。感染防止の観点から大会事務局では準備しない。

## 11. 選手・監督・コーチへの対応について

選手の試合参加の判断は、以下の基準により判断する。

＜選手の試合参加の入場可否の基準＞

7 日前	6 日前	5 日前	4 日前	3 日前	2 日前	1 日前	当日
記録開始							計量・試合
× 2 日以上発熱（注 1）・諸症状（注 2）あり				× 1 日でも発熱（注 1）・諸症状（注 2）あり			
×健康調査票を提出しない							

注 1）発熱の基準は、37.0 度以上とする。ただし、平熱が 37 度前後の場合は、平熱+0.5 度までは参加を認める。平熱は直前 7 日間の平均値とする。

注 2）諸症状とは健康記録表に掲げるいずれかの項目を指す。

※出場チームにおいては、出場選手が 1 人でも有症状のために試合参加不可となった場合、チーム全体として試合を辞退することが望ましい。また、試合 2 日前以降に有症状者と練習していた選手は出場不可とします。

※大会 7 日前以降に選手自身が COVID-19 に感染、または保健所から濃厚接触者に認定された

場合はいかなる状況においても大会参加は認められません。

※ただし、チーム内に COVID-19 感染者・濃厚接触者が出たものの、選手自身が感染者でなく、保健所から濃厚接触者に認定されていない場合、保健所からの濃厚接触者認定が遅滞している場合や保健所が認定を行わない場合には下記の条件を全てクリアした場合に限り練習を再開でき、かつ大会への出場を認める。

## 12. 審判員への対応について

健康調査票（役員用）を提出する。

### （１）マスクの着用について

審判中もマスクを着用する。試合場に上がらない審判委員もマスクを着用する。

### （２）試合中の位置取り

審判同士や選手とは、十分な距離（少なくとも 2 m 以上の距離）をあけるが、技の判定の判断には近接での判断が必要な場合もあるので、臨機応変に対応する。

### （３）試合中の監督・コーチ・選手のコントロール

コーチや選手が試合場で大声を出して、応援や指示をする場合には、厳しくコントロールする。

### （４）試合場の清掃、消毒

試合場が出血や汚物などで汚れた場合は、審判員の指示で係員が必要に応じて清掃・消毒を行う。

### （５）審判は、試合中に選手が巻いているテーピングのテープが剥がれて試合場に落ちた場合、そのままポケットに入れず、ビニール袋に入れてポケット内で管理し、試合場が下りる時にアルコール等で手指消毒を必ず行う。（ビニール袋は大会事務局で準備します）

## 13. その他

上記に記載のない事項については、全日本柔道連盟で定めている「新型コロナウイルス感染症への対応について」および「柔道練習・試合再開の指針」の最新版に沿って対応する。